

※記載例を参照の上、ご記入ください。

(様式第3号)

企業・団体名(有限会社 峯村建設)

SDGs達成に向けた具体的な取組 (要件2) 【R5.9.5変更】

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
人権・労働	<input type="checkbox"/>	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	差別のない、平等な人材活用をしっかりと行っていく					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3					16.1 16.2 16.7		
	<input type="checkbox"/>	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	あらゆるハラスメントの禁止を就業規則に明記している そして相談窓口を設置(担当者には必要な研修を行っている)					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8							16.1		
	<input type="checkbox"/>	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	低生産性の仕事は必ず過度な長時間労働に繋がっていく まず限られた社員で労働時間を減らすには生産性の向上が不可欠 生産性の高い分野にシフトしていく									8.5 8.8								
	<input type="checkbox"/>	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	労働市場は世界的な競争になっている。労働人口が減少していく中、外国人労働者の受け入れのための環境整備を行っている				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	現場での安全パトロールの実施 会社のスローガンに「人に優しく～」と謳ってある通り、「誰一人けがをさせない」現場の実現を目指している			3					8									
	<input type="checkbox"/>	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	毎年1回、ストレスチェックの実施を就業規則に明記している チェックの結果に基づく石の面接指導の結果、当該社員に対しては「作業の転換」等必要な処置を講じている			3														
	<input type="checkbox"/>	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	外国人労働者の受け入れ 年齢、性別、キャリアを問わない多様な人材の採用 すでに親会社においては外国人社員の活躍をHPで発信している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	社員に必要な資格取得は全面的に支援している 人材教育に必要な研修会はもちろん、各種セミナーにも必要に応じて積極的に参加することを勧めている				4	5.5			8	9								
	<input type="checkbox"/>	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	同一労働同一賃金の原則を遵守 賃金のみならず、あらゆる待遇面において、その格差が不合理ではないことを説明できない場合は待遇の改善を検討する					5.5			8.5		10.2 10.3							
	<input type="checkbox"/>	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	「信州おいしい空気の施設」(認定番号、長野市-207)として認められたのを機に、スモークフリーカンパニーと自ら宣言して、社内・現場内、終日前面禁煙として8年経過 インフルエンザ予防接種費用補助			3					8									
環境	<input type="checkbox"/>	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	産廃の減量化、適正処理の推進-長野県3R実施協定締結 ゴミ(産廃以外)の減量とその分別の徹底によるリサイクルに推進-ながのエコ・サークル、ゴールドランク認定。毎年、排出量の削減目標を設定している- EA21											11.6	12		14.1			
	<input type="checkbox"/>	【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	毎年、電力・燃料(ガソリン・軽油・灯油)の使用量を把握し、その削減目標値を設定して、その結果を評価している- EA21							7.3					13					
	<input type="checkbox"/>	【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	会社をあげて省エネルギーの推進に取り組んでいる 過去5年間の年間CO2平均総排出量372kg-CO2を基準にして、今後10年間で10%削減に取り組む- EA21							7.2 7.3				12.4	13.3					
	<input type="checkbox"/>	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	法令で規制されている有害化学物質を把握し使用しない 一般の化学物質については、その使用と管理についてはEA21で特に管理を徹底し、チェックし評価している			3.9			6.3					11.6	12.4					

カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
環境	□	【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	EA21の基本理念に「環境保護への取組みを邁進すること」を挙げている。よって環境を壊したり汚染して作られた製品は利用しないよう環境に配慮した資材の購入の目標値を設定している -EA21						6.6								15			
	□	【3Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	産廃-「長野県産業廃棄物3R実施協定」締結 事務系一般廃棄物-ながのエコ・サークル「ゴールドランク」認定										13	14.1						
	□	【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	水使用量のs苦言に取り組んでいる ①こまめな節水 ②現場の簡易トイレ(水洗)は雨水を利用他 水道使用量の削減目標値を設定している-EA21						6.4 6.6											
	□	【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	EA21を取得して9年目の活動になる 常に環境に配慮した事業活動を心掛けていきたいと思っている			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
	□	【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	事務所1Fエントランスに環境掲示板を設置 HPでEA21環境活動レポートを公開している											12.6						
	□	【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	将来的には「環境価値」のあるグリーン電力の使用を考えている							7.2					13					
	□	【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	環境に配慮した資材・製品(建設資材、機械から事務用品まで)の購入を推進 環境配慮型製品の購入目標値を設定している-EA21											12.2	13	14	15			
公正な事業慣行	□	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	就業規則に明記し、社内に周知している															16 16.5		
	□	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	【予定】親会社の「不正競争行為防止ガイドライン」に準じて社内に周知 全てのステークホルダーに対し誠実に接し、透明性のある事業活動を行う															16		
	□	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	同上								8.2 8.3	9								
	□	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	就業規則に明記し、社内に周知している																16	
	□	【紛争鉢物】 ・紛争鉢物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	現在、本業兼業において紛争鉢物を原料とする事業は行っていない																16	
	□	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】未来の姿として、SDGsの目標へ向かう取り組みは当たり前と考え、協力会社とはSDGsに反しない企業活動について認識を共有し、取り組んでいきたい					5			8		10		12	13	14	15	16	17
	□	【パートナーシップ構築宣言】(R5.9.5~追加) ・中小企業庁等が推進する「パートナーシップ構築宣言」を作成・公表している	基本	【予定】 「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表に向け準備を進める予定			3						8	9	10						17

※「パートナーシップ構築宣言」の作成・公表方法はこちら。<https://www.biz-partnership.jp/>

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されていることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取組む予定のものであっても、その取組を「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載するほか、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、できるだけ、その旨を併せて記載してください。
 （※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、女性の活躍推進企業知事表彰、男女共同参画推進県民会議表彰、障がい者雇用優良事業所等表彰、信州豊かな環境づくり県民会議表彰、長野県技能評価認定制度、NAGANOものづくりエクセレンス認定、信州福祉事業所認証・評価制度、信州リサイクル製品認定制度、信州の環境にやさしい農産物認証制度、長野県原産地呼称管理制度、信州おもてなし大賞、えるぼし認定、循環型社会形成推進功労者表彰、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）

- この「要件2」は、ISO26000（※1）、RBA（Responsible Business Alliance）（※2）行動規範等を参考に、非財務情報（SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項）について整理し作成
- 「SDGsとの関連性」については、各項目について、169のターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する17ゴールが当てはまる場合は、**赤字**で番号を記載
- 企業が県へ申請する際には、チェック欄へのチェックとあわせ、「具体的な取組」へ取組内容を記載
 - ※1…組織の社会的責任に関する国際規格
 - ※2…労働環境、製造プロセスの環境負荷に対する責任を持っていることを確認するための規定